

## 最新！迷惑メール対策情報 BIMI (ビミ)

大量に届く迷惑メールにより、受信トレイは本物か偽物かわからないメールであふれかえっていませんか？ どんなにフィルターを設定してもすり抜ける迷惑メールが原因で、大切なメールを見逃してしまったり、詐欺メールを開いてしまったり、お困りの方も多いと思います。そこで、最近メールサービスで導入が進んでいるBIMI(ビミ)の便利な機能を紹介します。



### (1) BIMI(ビミ)で見分ける！公式メールはロゴをチェック

BIMI (Brand Indicators for Message Identification) は、メールのなりすまし対策の一つで、正規のメールと認証されたメールに送信側の企業のロゴアイコンが表示されます。

例えば、auからのメールを受信したときに、メールアプリの受信一覧にauのロゴが表示されることで、ひと目で公式のauからのメールと判断することができます。もしauをかたった詐欺メールだった場合はauのロゴは表示されません。

このBIMIの機能を知っていれば、企業や銀行、クレジットカード会社などをかたった詐欺メールを受け取ったとしても、ロゴが表示されているかどうかを確認すれば、正規のメールかを一目で見分けることができます。



Android auメールアプリ



iPhone/iPadメールアプリ

<メールアプリでのau/KDDIロゴ表示イメージ>

※出典：auメール、なりすましメールの抑止と送信元のアイコン表示でフィッシング詐欺への対策強化 (au)  
<https://www.au.com/information/topic/mobile/2023-024/>

## (2)BIMIに対応したメールアプリで見よう

それでは、実際にBIMIに対応したメールアプリの例を紹介します。下の画像は同じメールを、違うアプリで表示したときのものです。左の画像はBIMIに非対応のメールアプリで見た場合で、右の画像はBIMIに対応した「Yahoo!メール」アプリで同じメールを見た場合です。ロゴがあるだけで見やすさがずいぶん変わります。



BIMIに対応したGmailアプリや「Yahoo!メール」アプリでは複数のメールアドレスを設定することができるので、もし現在利用しているメールアプリがBIMIに対応していないときはメール受信アプリを変更することもおすすめです。

参考：Gmail アプリにメール アカウントを追加する (Gmail)

<https://support.google.com/mail/answer/6078445>

「Yahoo!メール」アプリについて (Yahoo! JAPAN)

<https://support.yahoo-net.jp/SaaMail/s/article/H000012116>

## (3)BIMIに対応した企業の一例

BIMIに対応したメールを利用するためには、送信側と受信側企業両方での対応が必要なため、導入はまだ一部の企業に限られています。現状BIMIに対応したメールよりも、対応していないメールの方が多いため、右のメール受信画面の例のように、①BIMI対応メール、②BIMI非対応メール、③詐欺メールが一覧に表示され、まだまだ必要なメールを見分けにくい印象があります。

そのため、間違えて詐欺メールを開いてしまう可能性もありますので、メールを確認するときは、次のページで紹介する「ゼロトラスト」の心構えがあると安心です。なお、BIMIに対応した企業ブランドの一覧は以下のページで紹介されていますのでご参考ください。

参考：BIMI対応組織リスト (ナリタイ)[https://www.narital.jp/enterprise\\_bimilist.html](https://www.narital.jp/enterprise_bimilist.html)

